

L a t e c h n i q u e
技術と時間 1
 e t l e t e m p s

エピメテウスの過失

ベルナール・スティグレル 著／石田英敬 監修／西 兼志 訳

上製・四六判／444 頁／定価 4410 円(本体 4200 円+税) ISBN978-4-588-12072-5 C3010

従来、哲学は形而上学のみを学問として技術の問題は下位においてきた。しかし、著者は技術を抜きに人間や文明は存在しないと、哲学の限界と行方を追う。資本主義は情報・メディア産業を通して人間の精神にいかなる影響を与えたのか。IT 革命以後、人と技術のかかわりについて哲学の関心は高まり、スティグレルの技術哲学も注目を浴びている。



■第1巻 主要目次

第I部 人間の発明

- 第一章 技術進化の諸理論
- 第二章 技術論理と人間論理
- 第三章 〈誰〉? 〈何〉? 人間の発明

第II部 エピメテウスの過失

- 第一章 プロメテウスの肝臓
- 第二章 既に現に
- 第三章 〈何〉の脱離

(以下続刊)

技術と時間 2

方向喪失 (ディスオリエンテーション)

ISBN978-4-588-12073-2 C3010
 予価 4410 円 (本体 4200 円)
 ▶ 2010 年刊行予定

技術と時間 3

映画の時間と難-存在の問題

ISBN978-4-588-12074-9 C3010
 予価 5145 円 (本体 4900 円)
 ▶ 2011 年刊行予定

ポスト構造主義の次世代を担う
 フランスの最も重要な哲学者の主著シリーズ
 待望の邦訳はじまる

切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL03-5214-5540/FAX03-5214-5542

注 文 書	技術と時間 1	ISBN978-4-588-12072-5 定価4410円(本体4200円+税)	▶2009年 7月発売	(冊)	書店名・ 番線
	技術と時間 2	ISBN978-4-588-12073-2 予価4410円(本体4200円+税)	▶2010年 刊行予定	(冊)	
	技術と時間 3	ISBN978-4-588-12074-9 予価5145円(本体4900円+税)	▶2011年 刊行予定	(冊)	
	お名前:	☎			
ご住所:	〒				

■ 著者 ————— ベルナル・スティグレル (Bernard Stiegler)
1952年生まれ。国際哲学コレージュ (Collège international de philosophie) のプログラム・ディレクター、コンピエーニュ工科大学教授を務めたのち、フランス国立図書館、国立視聴覚研究所 (INA) 副所長、音響・音楽研究所 (IRCAM) 所長を務めた。現在、ポンピドゥー・センターの文化開発部長およびリサーチ&イノベーション研究所 (IRI) 所長。文化資源のIT化国家プロジェクトの中核を担い、技術と人間との関係を根源的に問う、ポスト構造主義以後の代表的哲学者。本書『技術と時間』(現在第3巻まで刊行)はOpus Magnum (主著)とされる。『テレビのエコーグラフィー』(デリダとの共著, NTT 出版), 『象徴の貧困 1』『愛するということ』『現勢化』『向上心について』(以上, 新評論) など, 邦訳書も多数ある。

■ 監修 ————— 石田 英敬 (いしだ ひでたか)
1953年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退, パリ第10大学大学院博士課程修了(人文科学博士)。現在, 東京大学大学院情報学環・学際情報学府・教授, 2009年より同学環長・学部長。2000年から2005年まで国際哲学コレージュのプログラム・ディレクターを務める。主な業績に『記号の知/メディアの知』(東京大学出版会), 『現代思想の地平』(放送大学教育振興会), 『知のデジタル・シフト』(編著, 弘文堂), 『フーコー・コレクション』(共編訳, ちくま学芸文庫) などがある。

■ 訳者 ————— 西 兼志 (にしけんじ)
1972年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程単位取得退学, グルノーブル第3大学大学院博士課程修了(情報コミュニケーション学博士), グルノーブル第2大学大学院博士課程修了(哲学博士)。現在, 東京大学大学院情報学環特任研究員。著書に『窓あるいは鏡: ネオTV的日常生批判』(慶應義塾大学出版会, 水島久光との共著), 訳書に『世界最大デジタル映像アーカイブ INA』(白水社) などがある。

続刊のご案内

技術と時間 2

方向喪失 (ディスオリエンテーション) ▶▶▶ 2010 年刊行予定

ISBN978-4-588-12073-2 C3010 / 予価 4410 円 (本体 4200 円+税)
映画や写真といったアナログ技術をはじめ, デジタルやバイオテクノロジーを取り上げ, 技術は記憶をとどめるためのものではなく, 記憶が技術そのものであると主張し, 記憶の産業化を問う。

技術と時間 3

映画の時間と難-存在の問題 ▶▶▶ 2011 年刊行予定

ISBN978-4-588-12074-9 C3010 / 予価 5145 円 (本体 4900 円+税)
レコードや映画産業などの文化産業は, メロディやイメージをつうじて人々の意識に働きかけ, それを市場化する。私たちが生きるのはポスト産業社会ではなく, ハイパー産業社会であると主張する。



装幀: 岡田桃子・阿部卓也